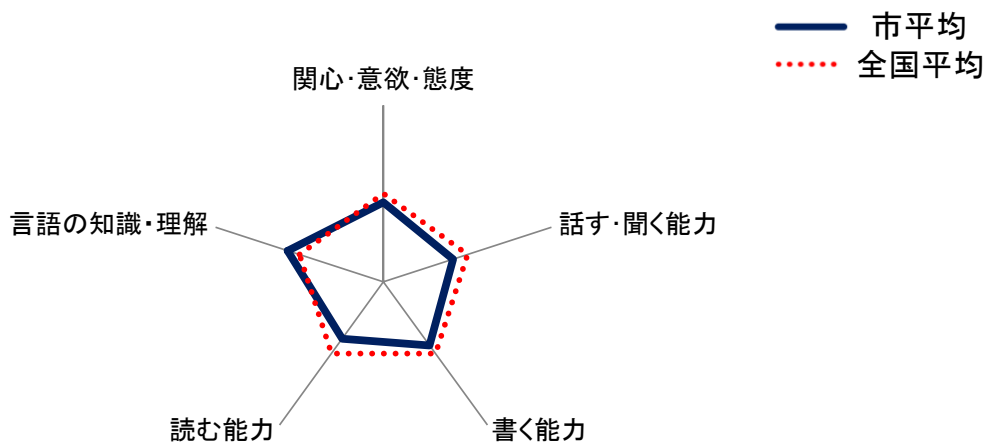


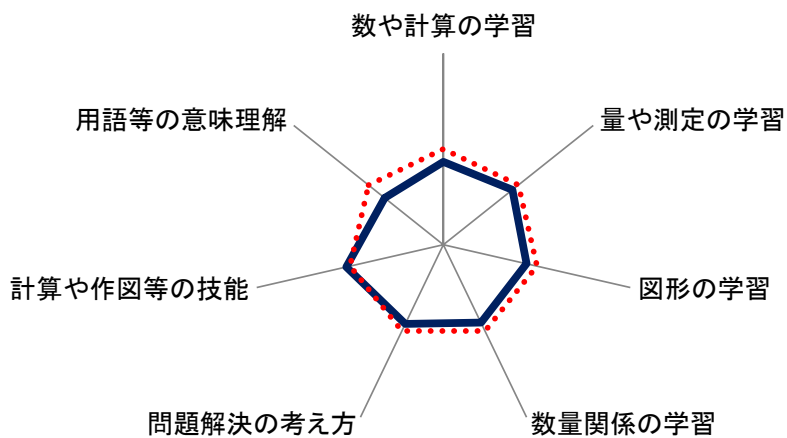
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

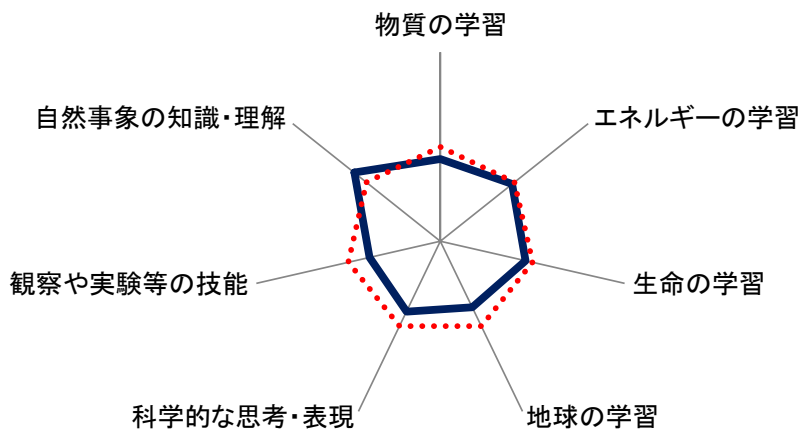
【国語】



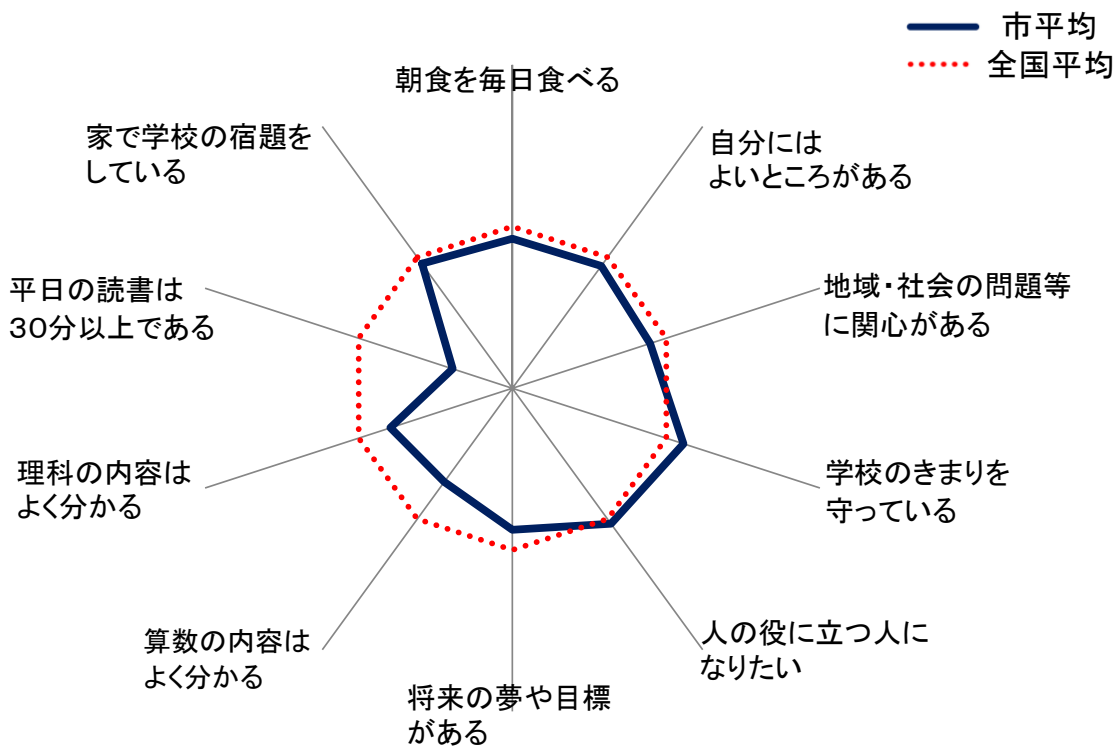
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「言語の知識・理解」、算数は「計算や作図等の技能」、理科は「自然事象の知識・理解」など各教科において1項目ずつ全国平均を上回っている。国語、算数について全国平均を下回っている項目について、原因を詳細に分析して授業改善を図るなど、更なる学力向上のための対策が望まれる。

児童質問紙調査では、「学校のきまりを守っている」や「人の役に立ちたい」の各項目の肯定的な回答が全国平均を上回っており、規範意識や奉仕の精神が高い。「平日の読書は30分以上である」の項目は昨年度に引き続き、全国平均を大きく下回っており、読書に親しむ習慣づくりに心掛けるとともに「算数、理科の内容はよく分かる」の項目においても肯定的な回答が全国平均を下回っていることから、児童にとっての「楽しい授業、分かる授業」の実践が望まれる。